

例会 NO 1 2 7

No 3- 40 1993. 5. 26 発行



1992~1993 RI テーマ
まことの幸福は
人助けから
RI 会長 クラブ・マネージャー



Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第127回例会報告(5/19)

司会 SAA 吉尾警太郎

☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング 「それでこそロータリー」

ソングリーダー SAA 飯島裕美

☆お客様紹介

会長 赤尾 恭雄

磯田 浩様

(大妻女子大学)

力石 輝夫様

(東京多摩RC)



☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

*理事会報告

5/13 (木) 読売グリーンクラブにて開催された第18回臨時理事会において、下記の議題につき審議決定された。

〔議題1〕 本年度親睦旅行の具体的計画について杉田親睦委員長の説明を受け、異議なく決定した。先の理事会決定通り移動例会による全員登録をもって実施する事を再確認した。

〔議題2〕 下記会員候補の推薦を承認した。

臼井 博 (東京王プラザホテル多摩)

取締役総支配人

(推薦人: 内藤 實会員)

〔議題3〕 本年度最終例会(6/30)の会場を京王プラザホテル多摩にすることを決定した。

* 地区青少年交換学生志願者の面接実施
下記の者より受験書の提出あり、事務局にて事前面接を実施し、関係書類を地区宛に提出した。

〔受験者〕 網沢志津子 (多摩市落合在住)

都立狛江高校3年

山中いずみ (相模原市鶴野森)

多摩大学付属聖ヶ丘高校1年

☆幹事報告 会長 赤尾 恭雄

* 例会臨時変更

・東京調布RC

6/7 (月) → 6/4 (金)

東京武蔵府中RC創立5周年記念式典へ

6/28 (月) → 夜間例会 (うかい鳥山)

・東京稲城RC

6/3 (月) → 6/4 (金)

東京武蔵府中RC創立5周年記念式典へ

・東京狛江RC

6/4 (金) → 6/4 (金)

東京武蔵府中RC創立5周年記念式典へ

・東京田園調布RC 例会場変更のお知らせ
平成5年7月2日 (金) より

大森東急イン5F ビジターフィ 3,500円

☆次年度会務報告

次年度会長 横倉 舜三

東分区次期会長・幹事の初めての会が開か

れ、次期の年間予定が発表されました。

・7/14 調布の金子分
区代理による当クラ
ブへの表敬訪問が決
定。

・各委員会の活動計画
が出揃い、予算も大
詰めに来ている。皆様との協議会を6月7
日夜を予定したい。会場は追って連絡致し
ます。



☆委員会報告

★親睦委員会 親睦委員 森田 舞子

ニコニコBOX

カ石 輝夫

(多摩RC)

本日はお世話になり
ます。

大熊 将夫 お客様よ
うこそ。4月に結婚
祝いをいただきましたので。

橋口 洋三 先月家内が誕生日祝いを頂いた
ので。

吉沢 洋景 先週は出られませんでした。

高村 弘 御無沙汰で申し訳ございません。

村上 久 やっといい天気になりました。

このまま続いてもらいたいものです。

猪股 末男 もう夏ですね。

海野 栄一 萩生田さん、家内がお世話になり
ました。

萩生田茂夫 昨日海野さんの奥様にお会いし
て大変良いショットを拝見しました。私も
もとより、海野さんも奥さんに良く教えて
頂きなさい。ご忠告まで。

赤尾 恭雄 大妻女子大学社会情報学部長、
磯田 浩様ようこそお越し下さいました。

大松 誠二 八ヶ岳の光と風を浴びて来まし
た。非常に爽快であります。

佐伯 和廣 今月はじめてですね。

森田 舞子 お客様ようこそ。思いがけない
仕事を受注出来たので。

杉田 誠 皆様のご協力で親睦旅行のスケ
ジュールが出来ました。

宮本 誠 連休終わった途端に素晴らしい
天気が続きますね。

以上 合計 31,000円

★青少年奉仕委員会

委員長 吉沢 洋景

先日お見せしたエイ
ズ撲滅キャンペーン、
薬物乱用防止のパンフ
レット、ボックスが揃
いましたので、各事業
所で置いて頂ける所
にお配りしたいと思います。
また更に数を増や
して幅広く配って運動を盛り上げたいと思
いますので宜しくご協力願います。



★ロータリー財団委員会

委員長 小坂 一郎

先だってロータリー
財団の会長ダクターマ
ン氏の表敬訪問という
ことで品川で会が開か
れ、赤尾会長、横倉次
期会長、私の3人で出
席しました。当日会長
から「色々な財団から
寄付を頂いていますが、直接皆さんはそれら
を誰にあげたかと云う事はわからない。然し
頂いたもので世界の困っている方々、誰かし
らが助けられている。皆さんは私の様に直接
手に触れて握手は出来ないが、皆様のお蔭で
そういう方々がいるんなものから救われてい
る事に関し、深く感謝しています」というお
話がありました。



★会報委員会 委員長 奥田 文夫

いつも会報をご愛読頂き有難うございます。
今日は皆さんの手元に会報に関するアンケート
を配らせて頂いています。これは委員会で
一年間やってきた事に対する皆さんのご批判、
ご意見をうけたまわろうと云う事と、来期の
委員会に皆さんの意見を継いでいきたいので、
是非ご協力お願い致します。

回収は今日の帰り、または来週の例会、あるいは事務局へFAXでお送り願います。

★出席委員会 委員長 宮本 誠

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本報 日誌	44	33	5	6	86.36%
前訂 回正	44	34	2	8	81.82%
前訂 回正	45	36	7	2	95.56%

出席免除者 4名

[今週のメイクアップ]

- 遠藤 二郎 (5/18 多摩RC)
- 橋本 幸夫 (5/12 地区協議会)
- 北村 幸彦 (5/18 会長・幹事会)
- 中山 恒武 (5/18 東京みなとRC)
- 津守 弘範 (5/12 地区協議会)

[欠席届出者]

- 足立潤三郎、小島周二郎、伊神 稔
- 永田 健作、奥木 博勝、横倉 恒雄

[先週のメイクアップ]

- 伊神 稔 (5/18 多摩RC)
- 小坂 一郎 (5/8 RI会長公式訪問)

★親睦委員会 委員長 杉田 誠

*移動例会及び親睦旅行のご案内

今回は内藤会員のご尽力ですべての手配を京王観光にて行わせて頂きました。

詳しいスケジュールはご旅程表を参考願います。なお、親睦旅行兼移動例会と云う事で全員登録となっていますので、期限(5/26)までに会費22,000円の納入をお願い致します。

【ゴルフ担当】 親睦委員 橋口 洋三

- *場所：諏訪ゴルフ倶楽部
- *日時：6/3(木) 7:36~15:00
- *参加者：16名

【テニス担当】 親睦委員 大松 誠二

- *場所：ホテル、インドアテニス2面予約
- *日時：6/2(水) ホテル到着後約2時間
- *申込み：来週までに私または宮本会員まで。

*****【卓話】*****

『分かち合う喜び』

暮らしの映像社、鈴木 浩

暮らしの映像社の鈴木 浩と申します。

お手元の映画のチラシをご覧になって何かお気づきになったことがおありでしょうか。これら4本の映画は、いつでもフィリピンに出かけて行って撮影をしてきたものです。

皆様はフィリピンと聞いて、どんな事を思い浮かべるのでしょうか。映画の撮影で行く事になるまで、私はフィリピンに行った事はありませんでした。フィリピンに対するイメージも、経済的に貧しい国、治安の悪い国といったようなもので、特別な感心もなかったというのが本当の所です。ところが映画を作ることになって、何回もフィリピンに足を運び、様々な場所を訪ね、多くの人々と会うことになったのです。私が出会ったフィリピンの人の生活の貧しさ——それは日本では考えられないような貧しさでした。

フィリピンに行く事になったのは今から8年前「わが心の里子たち」という映画の撮影のためでした。キリスト教児童福祉会(CCWA)、国際精神里親運動部という社会福祉法人から映画製作を依頼されました。このCCWAは、アジアの人々と共に歩むことを目的に活動しているNGO、具体的には、国際精神里親運動という運動をやっています。この運動は、発展途上国の貧しい子供たちの健全な成長と、家族や地域の人々の生活向上、自立の促進を願いつつ、精神的な里親として子供たちの成長に必要な経済的な援助協力をしていくものです。この運動の話しを最初に聞いたとき、私はいくつかの疑問を持ちました。なぜフィリピンなのか。日本にも困っている子供もいる筈ではないか？ アフリカの飢餓の方がもっと深刻ではないか？ 安易な援助はかえってその人々の自立を妨げるのではないか？ 一見とてももっともらしく聞こえる疑問のようですが、実際にフィリピンに行ってみると、考えが変わりました。

フィリピンでどんな現実と出会い、自分がどう変えられていったかを、つぎに話してみたいと思います。

フィリピンでは、標準世帯、6人家族の1日の衣食住に必要な最低生活費は720円といわれていますが、全体の65%以上の人々がこ

の最低生活費以下の生活を強いられています。私たちは、いくつかの家族の生活のありのままの姿を覗かせてもらいました。その中でいまも忘れることが出来ない、ある家族と出会いました。ベルナンギスさんといいます。バナイ島のイロイロという所の海に面した小さな家に住んでいました。家は椰子の葉や竹で作った粗末なもので、家の中から星空が見えます。満ち潮になると海の水が家の中に入ってくるそんな家でした。昼間はいいですが、雨や風の強い日、寒い時は困ります。電気、ガス、水道、トイレはありません。家族は8人でした。両親と子供が6人。お父さんは大工さんでしたが、仕事のない日が多く生活の必要を満たす事が出来ません。次女のマリベル、当時12才、6年生の女の子を中心に撮影をさせてもらうことになりました。マリベルは学校から帰ると、急いで近くの井戸で水を汲み、皿を洗い、掃除をします。早く家事をすまして、明るいうちに宿題や勉強をしなければならぬからです。電気のないマリベルの家では、夜に宿題や勉強をするわけにはいかなからです。

ある日この家族の夕食を撮影させてもらうことになりました。空き瓶を利用してつくった灯油のランプがテーブルをほんやりと照らしています。テーブルを見て私はアッと思いました。テーブルの上にあったのは、二匹の干し魚とご飯と水だけだったのです。家族8人でたったのこれだけなのです。ベルナルギスさん一家は感謝の祈りをしてから食べはじめました。干し魚を少しづつ、少しづつちぎって食べています。薄暗いランプの明かりの中でわずかな食べ物も分かち合って食べている家族の姿に貧しさは感じられませんでした。むしろわずかな食べ物に感謝し、分かち合う心の豊かさや美しさを感じました。

ある時、真夜中の海を撮影するため海の近くの小屋に泊まった時、蚊が入ってくる小屋

で寝ようとするといつの間にか蚊帳が置いてあります。余分な蚊帳など持っていないのですから私たちに蚊帳を貸してくれた方はその夜は蚊帳なしです。フィリピンのあちこちでこのような人々のやさしさにふれました。

フィリピンは本来自然に恵まれた、資源の豊かな国なのになぜこんなに貧しいのか、私はフィリピンは貧しい国ではなく、貧しくさせられている国ではないかと思えます。資源から産み出される巨額の富みが、外国の資本家や、多国籍企業そして彼等と手を組むフィリピン人エリートによって独占されているという現実があります。

子供たちが栄養失調にならないような食事をさせたい、病気の時は医者に診てもらいたい、どの子もせめて義務教育だけは受けさせたい。一生懸命働いたら、普通に暮らせるようになりたい。誰でも願っている当然のことを求めているのだと思います。

また援助出来るとしたら、どんなことがいいのかという問題ですが、本当に難しい問題です。ODA、いわゆる政府間援助でフィリピンに港や道路、橋などが建設されている訳です。ところが、これがフィリピン的一般大衆のためになるところか、その逆ということが多いそうです。建設予定地の住民は立ち退きで住む場所を失い、建設された港に入ってくるのは、日本の大型トロール漁船だそうです。こうした船がそのあたりの魚を大量に漁り、小さな魚までとってしまうのです。

(中略) 私に出来ることは、フィリピンでのささやかな体験を映画やビデオを通して、あるいは今日のように話しを通して皆様にお伝えして行く事です。すでに様々な奉仕活動をしておられる皆様には、もうわかり切っていることばかりお話ししてしまったのではないかと気掛かりです。今日はフィリピンでの映画製作を通して教えられた、分かち合う喜びについてお話しさせて頂きました。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・熊 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうテアト7F サファイヤパレットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30